

科目名	情報処理実習	英語科目名	Information Processing Practice
開講年度・学期	平成 22 年度・通年	対象学科・専攻・学年	物質工学科 1 年
授業形態	講義・実習	必修 or 選択	必修
単位数	2 単位	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	渥美太郎	居室 (もしくは所属)	電気・物質棟 4 階
電話	0285-20-2805	E-mail	atsumi@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1. 関数電卓の使い方を学び, 専門科目で必要な計算や学生実験のデータ処理に活用できること .			
2. BASIC プログラミングの基礎を学び, 簡単なプログラムを自ら作成できること .			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標 1,2 とともに, 年 4 回 90 分の試験と課題について 60%以上の成績で達成とする .			
評価方法			
年 4 回の試験の平均点 + 課題点			
授業内容			
1. ガイダンス, 関数電卓の使用方法 (1) 設定, 四則計算			
2. 関数電卓の使用方法 (2) 関数計算, 変数計算			
3. 関数電卓の使用方法 (3) 数式記憶計算, 集計計算,			
4. 実験データの取り扱い (1) 誤差の取り扱い			
5. 実験データの取り扱い (2) 図の描き方, 統計計算, 回帰分析			
6. データ処理 (1) 4,5 の応用 . 環境データの解析 (1)			
7. データ処理 (2) 4,5 の応用 . 環境データの解析 (2)			
8. 前期中間試験			
9. データ処理 (3) 4,5 の応用 . 分析化学実験のデータ処理 (1)			
10. データ処理 (4) 4,5 の応用 . 分析化学実験のデータ処理 (2)			
11. データ処理 (5) 4,5 の応用 . 分析化学実験のデータ処理 (3)			
12. データ処理 (6) 4,5 の応用 . 分析化学実験のデータ処理 (3)			
13. 情報処理概論 (1)			
14. 情報処理概論 (2)			
15. 前期期末試験			
16. 試験の返却, 解説 . 夏休みの課題の説明 .			
17. BASIC プログラミング (1) ソフトウェアの使用方法			
18. BASIC プログラミング (2) 変数, 入力, 出力			
19. BASIC プログラミング (3) 繰り返し文			
20. BASIC プログラミング (4) 繰り返し文			
21. BASIC プログラミング (5) 条件判定文			
22. BASIC プログラミング (6) 配列			
23. BASIC プログラミング (7) サブルーチン			
24. 後期中間試験			
25. 試験の返却, 解説 . BASIC プログラミング (8) データ文			
26. BASIC プログラミング (9) 組み関数			
27. BASIC プログラミング (10) プログラム例題			
28. BASIC プログラミング (11) プログラム例題			
29. BASIC プログラミング (12) プログラム例題			
30. BASIC プログラミング (13) プログラム例題			
31. 後期期末試験			
32. 試験の返却, 解説 .			
キーワード			
教科書	関数電卓付属のテキスト, プリント配布		
参考書			
小山高専の教育方針 ~ との対応			
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
JABEE 基準 1 の (1) との関係			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目			
現学年の関連科目	関数電卓を用いる授業や実験		
次年度以降の関連科目	電子計算機実習, 関数電卓を用いる授業や実験		
連絡事項			
授業, 試験のときに関数電卓を必ず持ってきてください .			
関数電卓の使用方法をきちんと覚えること . 授業での計算や実験レポート作成のときのデータ処理に役立ちます .			
関数電卓は 5 年間使用するので, 盗難には十分注意してください .			
シラバス作成年月日	平成 22 年 2 月 24 日		